

上牧、下牧時に定期的な駆虫を！

消化管内線虫は、牛の消化管内に寄生する糸状の虫の総称です。

牛に“消化管内線虫”が寄生していると、「吸血」や「栄養の横取り」によって、牛に貧血や栄養不良が起こります。

このため、以下のような症状が出ます。

- ・発育が遅くなる
- ・痩せてくる
- ・受胎率の低下
- ・大量の寄生では、突然死することも

予防のために、上牧、下牧のタイミングで駆虫を行いましょう。

駆虫薬には、牛の背にかけて使うものや、注射するものなどがあります。具体的な種類、使用方法などについては、獣医師とご相談ください。

糞便検査で見つかる色々な寄生線虫卵

牛捻転胃虫



乳頭糞線虫



牛回虫



牛毛細線虫
(キャピラリア)



飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL : 0577-33-1111 (内線402)

E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp

FAX : 0577-32-9019